

気象庁

交流採用（民間企業→国）

① 交流採用したいと考えているクラス（年齢）、人数等

係長～専門職級（30～50歳程度）若干名

採用の時期は令和3年4月を基本としていますが、ご相談に応じます。

② 交流採用が考えられる職務

- ・情報基盤部において、気象情報利活用推進（WXBC事務局）の業務、富岳等最先端スパコンへのプログラム最適化業務、クラウド等の活用検討業務
- ・大気海洋部において、天気図解析、予報作業補助、海上警報関係業務及び応用プロダクト技術開発業務（解析雨量、ナウキャスト）

③ 上記職務に就かせる場合の交流採用者に求める条件（業種名、専門性等）

上記職務の遂行に当たっては、情報システム分野の知識又は気象学に関する知識を有し、気象情報の利活用推進、最先端スパコンでのプログラム開発又は気象解析・予測に関わる業務に携わった経験を有する者が望ましいと考えております。

④ 府省のPR及び人事担当者からの一言

気象庁が実施している施策に理解を有し、民間で培った経験を活用して、業務に取り組むことができる方を採用し、民間の視点を当庁の業務に積極的に取り入れていきたいと考えています。

〔担当者〕

氏名：松本 千登勢

所属：気象庁総務部人事課長補佐

連絡先：03-6758-3900（内線2307）